

第14回離島対策等検討会 議事録

1. 日時 平成20年12月9日(火)10時00分～11時00分
2. 場所 日本自動車会館11階
(財)自動車リサイクル促進センター第2会議室
3. 出席者 藤井座長、大杉委員、渡邊委員
その他 (財)自動車リサイクル促進センター事務局、
経済産業省・環境省担当官
4. 議題
 - 1) 審議事項
 - (1) 平成21年度 離島対策等支援事業資金出えん計画(案)
 - (2) 不法投棄等対策支援事業ガイドライン(案)概要
 - 2) 報告事項
 - (3) 燃料費変動に伴う海上輸送価格への対応について
 - (4) 海上輸送費の市町村間格差について
5. 議事録

上記(1)および(2)について、事務局より説明し、両議題とも承認された。

主な質疑・意見は次ページをご覧ください。

【主な質疑・意見】

(注)◇は委員からの質問・意見 ◆は事務局からの説明

(1)発生予定台数の推計方法について

◇推計式について、廃車ガラ輸出の台数を除くこととしているが、本事業を活用し島外搬出される可能性のある廃車台数を計上する観点からは、発生予定台数の要素として残しておく方向への一考を要する。

◆離島における廃車発生の実態に則した観点から現状の推計方法を見直すべきかどうか、自治体担当者等関係者とも相談のうえ、6月の検討会で再提示する。

(2)事業浸透度の濃淡解消について

◇離島対策支援事業については、21年度においても引き続き事業ニーズのある全自治体から要請があり、事業が定着しつつあるが、市町村間の浸透度に依然濃淡があるため、淡を濃に底上げする必要がある。

◆引き続き、申請低調市町村への訪問活動等による情報共有を通じ、濃淡解消へ向けた事業促進活動を行なう。

(3)鉄スクラップ市況急落について

◇市況の急落により、事業活用の減少および不適正保管の発生が懸念される。今後は市況の動向をにらみつつ、事業が円滑に活用されるよう状況を注意深くウォッチされたい。

◆市況の動向が事業の活用に与える影響を注視するとともに、関係者と連携を取り、適切な対応をとりたい。

(4)燃料費の変動について

◇燃料費の変動に伴う海上輸送単価への影響について、的確に個別状況を把握のうえ対応されたい。

◆燃料費の変動が海上輸送単価に与える金額的影響を適切に見極めたうえで、個別の状況を踏まえた柔軟な対応を行なう。

第3四半期の状況を踏まえた対応については、1月に報告予定。

以上